

5677 **KURAKU** 久楽世界の旅：ブロードウェイ・ミュージカル 040

.....

ニューヨークの劇場の数は多い。大別すると、**ブロードウェイ**、**オフ・ブロードウェイ**、そして、**オフ・オフ・ブロードウェイ**と、3つに分類される。一般的に、ブロードウェイの劇場は、**6番街と8番街、43丁目と53丁目**に、囲まれたエリアに位置するものを指すらしい。



**脱線**ご容赦。兼高かおる「世界の旅」TV 放映、時間を見つけては、楽しんでいた。映画全盛時代、「八十八日間世界一周」。アメリカ、ヨーロッパ、世界の旅にも憧れていた。心模様 **5650**、映画「ウエストサイド物語」10 回も、映画館へ足を運んだ。

話が混乱するが、学生時代、**アメリカセンター**で、京都の学生を集めた、アメリカ人の講演会が、毎週木曜日、開催されていた。**講演者紹介の司会？ 進行役を担当。**アメリカ文化の日本人への紹介。学者さんはじめ、聞いたことのない学問分野の講演者紹介。英語の発音すら難しく、四苦八苦。ケネディ大統領の時代だった。

今は、吸収合併された、ポストグローブという新聞の編集長、等々、学者や文化人、私には未知の世界。衝撃を受けたのは言うまでもない。その後、暗殺事件、ジョンソン大統領、教書もいただいたが、心の中の何かが、崩れてしまった記憶が、今も残る。

## ～～山はみどり 野に花 人にはころ～～

しかし、アメリカや欧州、いつかは訪ねてみたい、夢だけは見ていた。そして、実現。  
まさか、50歳から、こんな、ひとり旅が出来るとは、思いもよらなかった。  
旅の終わりは、厳しいだろうと覚悟して、夢挑戦。いろいろサポートしていただいて今日がある。

**話を元に戻して**、ミュージカルの歴史を紐解くと、

1892年、劇場主オスカー・ハマースタインは「オクラホマ」や「南太平洋」を上演して、好評を博し、現在のブロードウェイの基礎を築いたと。もちろん、現地で鑑賞。  
しかし、低迷する時期を経て、「オペラ座の怪人」「レ・ミゼラブル」  
低迷と繁栄を繰り返して、今日に至っているようだ。ミュージカル「キャッツ」  
NY ウィンターガーデンでは3回。イギリス・ロンドン、カナダ・モントリオールでも鑑賞。  
ミュージカル「**キャッツ**」の「**メモリー**」。鳥肌がたった感触は、今も残る。

余計なお世話だが、ミュージカルのチケット購入方法は、各劇場の窓口にて。  
好みの席を選ぶことができる。格安のチケット販売所には、上演の人気度もわかるので、  
何度も足を運んでいる。**上記の写真**は、その案内板の一つ、記念撮影？の瞬間。

この領域の雰囲気は面白く、ある場所では、座って、コーヒー片手に、人間ウォッチング。  
心模様 **5625**、2枚目の画像は、座って、人間ウォッチングする場所。  
設営されていない時もある。自分か置かれている環境と状況を、常に再確認して。

